

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 4 日 (2022.1.4)

【公表番号】特表 2021-508243 (P2021-508243A)

【公表日】令和 3 年 3 月 4 日 (2021.3.4)

【年通号数】公開・登録公報 2021-012

【出願番号】特願 2020-532757 (P2020-532757)

【国際特許分類】

A 2 4 F 40/85 (2020.01)

A 2 4 F 47/00 (2020.01)

A 2 4 F 40/46 (2020.01)

A 2 4 F 40/465 (2020.01)

【F I】

A 2 4 F 40/85

A 2 4 F 47/00

A 2 4 F 40/46

A 2 4 F 40/465

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 16 日 (2021.11.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エアロゾル形成基体を加熱して吸入可能なエアロゾルを発生させるためのエアロゾル発生装置であって、

エアロゾル形成基体を加熱するための加熱チャンバーであって、開口部を有する第一の端と、基部を有する第二の端と、前記開口部と前記基部との間に延びる側壁と、を含む、加熱チャンバーを備え、

くぼみが前記基部と側壁の内部表面によって画定され、前記基部の周囲部分は、前記基部と前記側壁の内部表面間の面取りされたまたはフィレットされた交点を提供するような輪郭とされ、

前記装置が加熱組立品および電源をさらに備える、エアロゾル発生装置。

【請求項 2】

前記側壁が、前記基部と直角をなす方向に実質的に延びる、請求項 1 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 3】

前記基部と前記側壁の前記内部表面間の前記面取りされたまたはフィレットされた交点が、前記基部の周囲の周りに実質的に延びる、請求項 1 または 2 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 4】

前記加熱組立品が、前記基部の内側部分を通して前記加熱チャンバー内に延びるヒーターを備え、前記基部の前記内側部分が、前記基部と前記ヒーターの間の面取りされたまたはフィレットされた交点を提供するような輪郭とされる、請求項 1 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 5】

前記電気ヒーターが抵抗ヒーターまたは誘導ヒーターである、請求項 4 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 6】

前記ヒーターがサセプタであり、前記加熱組立品がインダクタコイルをさらに含む、請求項 4 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 7】

前記ヒーターが、前記側壁に平行な方向に前記加熱チャンバー内に実質的に延びる、請求項 4 ～ 6 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 8】

前記加熱手段が外部ヒーターを備える、請求項 1 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 9】

前記加熱チャンバーの前記開口部が前記側壁によって画定され、前記開口部が前記基部に対向するように構成される、請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 10】

前記基部が前記加熱チャンバーの側壁と一体的に形成される、請求項 1 ～ 9 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 11】

前記基部が前記装置から取り外し可能である、請求項 1 ～ 9 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 12】

前記基部が取り外し可能であって、前記加熱チャンバーの前記第一の端の前記開口部を通して挿入可能である、請求項 11 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 13】

前記基部が取り外し可能であって、前記加熱チャンバーの前記第二の端に隣接した前記加熱チャンバーの側壁の前記開口部を通して挿入可能である、請求項 11 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 14】

前記基部が、取り外しツールと係合するための係合手段を有する、請求項 11 ～ 13 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置。